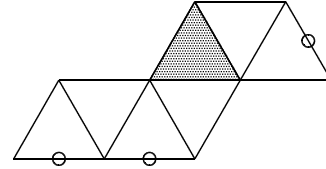


## 解 答

- ① (1)  $\frac{1}{1}\frac{3}{4}$  (2)  $2\frac{4}{5}$   
 ② (1) 281 番目 (2) 16 個 (3) 25 個  
 ③ (1) 4 (2) 72 歳くらい  
 ④  $6\frac{6}{7}$  km ⑤  $42\text{ cm}^2$   
 ⑥  $15\text{ cm}^2$  ⑦ 右図



## 解 説

- ② (1)  $\frac{1}{2} \diagdown \frac{1}{3}, \frac{2}{3} \diagdown \frac{1}{4}, \frac{2}{4}, \frac{3}{4} \diagdown \dots\dots$

1 組 2 組 3 組

のように組に分けて考えます。(分母-1)が組数と組の中の分数の個数で、分子が組の中での順番を表しています。 $\frac{5}{25}$ は、(25-1)=24組の5番目の分数ですから、

$$(1+2+\dots+23)+5=281 \text{ (番目)}$$

- (2) 分母が3の倍数の組に1個ずつあります。

$$48 \div 3 = 16 \text{ (個)}$$

- (3) 約分すると $\frac{1}{2}$ になる分数が一番多くなります。

$$50 \div 2 = 25 \text{ (個)}$$

- ③ (1)  $(40-28) \div (6-3) = 4$  (歳)

- (2)  $(14-3) \times 4 = 44$  (歳)

$$28+44=72 \text{ (歳)}$$

- ④  $1\frac{1}{2} \div \left(1-\frac{5}{8}\right) = 4$  (km) ……休憩所から公園まで

$$4 \div \left(1-\frac{5}{12}\right) = 6\frac{6}{7} \text{ (km)} \quad \dots\dots\text{学校から公園まで}$$

- ⑤  $169 = 13 \times 13 \rightarrow$ 大きい正方形の1辺の長さは13 cm (=㉞の横の長さ)

$$78 \div 13 = 6 \text{ (cm)} \quad \dots\dots\text{㉞のたての長さ}$$

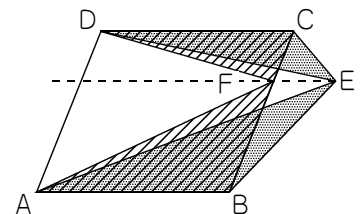
$$13-6=7 \text{ (cm)} \quad \dots\dots\text{㉞の1辺の長さ (=㉞の横の長さ)}$$

$$13-7=6 \text{ (cm)} \quad \dots\dots\text{㉞のたての長さ}$$

$$6 \times 7 = 42 \text{ (cm}^2\text{)} \quad \dots\dots\text{㉞の面積}$$

- ⑥ 右の図のように移動して考えると、2つの三角形ABEと三角形CDEの面積の和は、三角形ABFと三角形CDFの面積の和に等しくなり、平行四辺形ABCDの面積の半分になります。

$$6 \times 5 \div 2 = 15 \text{ (cm}^2\text{)}$$



- ⑦ 右の図のように、面㉞と頂点で接している面で、向いにある辺につければよいです。

